

選挙区	氏名	Q1長時間労働の是正に対して	Q2労働時間罰則付上限規制創設に対して	Q3「時間外労働の上限規制」について	Q4高度プロフェッショナル制度創設について	Q5企画業務型裁量労働の規制緩和について	Q6「同一労働同一賃金」について	Q7一括法案提出について	Q8解雇の金銭解決制度導入について
福岡1区	石井 英俊(希望)								
	井上 貴博(自民)								
	立川 孝彦(共産)	賛成 本人とその家族の生活、個人消費の活性化など、私生活の充実に直結し、日本の経済効果につながる。	賛成 現状はILO101号条約も結ばない、国際的にも恥ずべき状況。8時間労働制を空洞化させてはならない。	原則賛成 例外反対 例外規定は過労死ラインを法的に容認するもので、絶対に認められない。	反対 労働時間規制を外し日本の労働法制を根幹から覆すもの。	反対 長時間労働の「サービス残業」の温床となり得る。	反対 労働格差を温存・固定するもの。	反対 問題点が国民に明らかになる前に一気に通そうというやり方は許せません。	反対 乱暴な違法解雇が横行することになりかねない。
	山本 剛正(民主)								
福岡2区	稲富 修二(希望)								
	鬼木 誠(自民)								
	松尾 律子(共産)	賛成 本人とその家族にとつての悲劇のみならず、個人消費、自己啓発、交友関係、地域社会への参加などを考えても、百害あって一利なしです。企業にとつても、中長期的視点から見れば優秀な人材を失う大損害になります。同時に、過密労働の規制も必要です。「8時間働けばふつづくらせる社会」の実現は、日本の経済社会の活性化にとつても重要課題です。	賛成 労働基準法第36条が抜け穴となって8時間労働制が空洞化し、長時間労働が横行しています。ILO101号条約も結ばない、国際的にも恥ずべき状況です。	原則賛成 例外反対 例外規定は過労死ラインを法的に容認するもので、絶対に認められません。また、大臣告示にはあった週15時間という規制をこっそりと落としていることも大問題です。上限規制だけでなく、「勤務時間間インターバル」制度も罰則付き義務として導入すべきです。	反対 労働時間規制をはずし、日本の労働法制を根幹から覆すものです。「残業代ゼロ」のみならず、過労死を「自己責任」にしてしまいます。年収要件の枠が今後さらに緩められ適用範囲が拡大していくのは、労働者派遣法の例でも明らかです。	反対 いまでも「ノルマあって裁量なし」が実態で、長時間労働・「サービス残業」の温床となっています。その適用範囲が飛躍的に拡大されることとなります。	反対 「人材活用の仕組み」などが違えば賃金格差は許されるなど、格差を温存・固定するものです。	反対 これだけ重要な改定がいくつもある法案を一括で審議しようとするのは、一つ一つの改定の審議時間を短くし、問題点が国民に明らかになる前に通してしまおうということ。また、賛成できる部分があっても一括法案には賛成できない野党や労働組合を「何でも反対」と攻撃するためにも使われかねません。	反対 今でも、労働者がみずから退職を申し出ざるをえなくさせるまで追い詰める脱法的解雇や、「明日から来なくていい」などという乱暴な違法解雇が横行し、大多数の労働者が泣き寝入りしています。金銭支払いで解雇が容易になれば、労働者はますます解雇を恐れ、ますます声を上げにくくなります。「整理解雇4要件」の法制化こそ必要です。
福岡3区	古賀 篤(自民)								
	山内 康一(民主)	賛成	賛成	原則賛成 例外反対	反対	反対	賛成	反対	反対
福岡4区	宮内 秀樹(自民)								
	新留 清隆(共産)								
	河野 正美(維新)								
福岡5区	楠田 大蔵(希望)								
	田中 陽二(共産)	賛成 長時間労働は、過労死を発生させたりで、本人とその家族にも百害あって一利なしです。8時間働けば普通にこなせる社会をつくるべきです。	賛成 労基法36条が抜け穴となって8時間労働制が空洞化している。罰則付上限規制は当然	原則賛成 例外反対 例外規定は過労死ラインを法的に容認するもので、絶対に認められない。	反対 日本の労働法制を根幹から覆すもので認められない。	反対 「ノルマあって裁量なし」が実態で、長時間労働、サービス残業の温床です。	反対 格差を温存・固定するものです。	反対 一つ一つの改定の審議時間を短くし、問題点が国民に明らかになる前に通してしまおうというものだ。	反対 金銭支払いで解雇が容易になれば、労働者はますます解雇を恐れ、ますます声を上げにくくなります。「整理解雇4要件」の法定化が必要です。
	原田 義昭(自民)								
福岡6区	新井富美子(無所属)								
	小林 解子(共産)								
	鳩山 二郎(自民)								
福岡7区	江口 学(共産)								
	原 圭助(希望)								
	藤丸 敏(自民)								
福岡8区	麻生 太郎(自民)								
	宮嶋 つね子(共産)	賛成 8時間働けば普通に暮らせ、未来をひらける社会づくりが大切です。	賛成 急いで実現すべき課題です。	原則賛成 例外反対 例外規定は過労死ラインを法的に容認するもので、絶対に認められない。	反対 長時間労働のさらなる広がり突破口になる恐れがある。	反対 長時間、サービス残業をさらにひどくするものであり、認められない。	反対 「人材活用の仕組み」などが違えば賃金格差が許されるなど、格差を温存し、固定するものです。	反対 それぞれの課題についてはきちんと審査し、メリット、デメリットを明らかにすべきです。	反対 整理解雇4条件の法定化こそ必要です。
福岡9区	三原 朝彦(自民)	賛成 党のコメントと同じ	賛成 党のコメントと同じ	賛成 党のコメントと同じ	賛成 党のコメントと同じ	賛成 党のコメントと同じ	賛成 党のコメントと同じ	賛成 党のコメントと同じ	どちらでもない 党のコメントと同じ
	緒方 林太郎(希望)								
	真島 省三(共産)	賛成 8時間働けば普通に暮らせる社会の実現を目指す。長時間労働は家族・交友関係、地域の諸活動への参加にとつて百害あって一利なし。企業にとつても、中長期的には損害。	賛成 現状は労基法第36条が抜け穴となり、8時間労働性の空洞化と長時間労働の横行が横行している。	原則賛成 例外反対 過労死ラインを容認する例外規定には、断固反対。	反対 労働時間規制を外し、日本の労働法制を根幹から覆すもの。制度創設後に適用範囲が拡大されていくのは、労働者派遣法の例でも明らか。	反対 現行制度も、「ノルマあって裁量なし」のサービス残業の温床となっているのが実態。	反対 「人材活用の仕組み」などが違えば賃金格差が許されるなど、格差を温存し、固定するもの。	反対 一つ一つの改定の審議時間を短くなる。また、賛成できる部分はあるが一括では賛成できない野党を「何でも反対」と批判するために使われかねない。	反対 金銭支払いで解雇が容易になれば、労働者は声を上げにくくなる。

選挙区	氏名	Q1長時間労働の是正に対して		Q2労働時間罰則付上限規制創設に対して		Q3「時間外労働の上限規制」について		Q4高度プロフェッショナル制度創設について		Q5企画業務型裁量労働の規制緩和について		Q6「同一労働同一賃金」について		Q7一括法案提出について		Q8解雇の金銭解決制度導入について		
福岡10区	山本 幸三(自民)																	
	城井 崇(希望)	賛成	人権の確保と生産性の向上の観点から是正が急務。	賛成	法案の実効性を早急に担保すべき。	原則賛成 例外反対	上限規制導入自体は評価するが時間数については検討が必要。	反対	過去の労働法制緩和の経緯からして対象がなし崩し的に拡大されるのはあきらか	反対	現行法制を厳密に運用することが先決	賛成	すべての人が希望を持つために同一価値労働同一賃金の実現は必須。	反対	内容の全く違う法案を一緒にした審議はできない。	反対	使用者による安易な解雇を誘発する可能性が高い。	
	田村 貴昭(共産)	賛成	長時間労働は、一人一人の人生にとっても、企業含め社会全体にとっても百害あって一利なしです。「8時間働けば、普通にらせる社会」の実現が急務だと考えます。	賛成	労基法第36条の抜け穴をふさぎ、8時間労働制を実効あるものにならなければならぬと考えます。	原則賛成 例外反対	例外規定は過労死ラインに法的なお墨つきを与えるものです。絶対に認められません！勤務間インターバル制度、上限規制と併せて罰則付で導入すべきです。	反対	労働時間規制を外せば、過労死が「自己責任」化してしまいます。例外が拡大され、原則となってしまうのは、労働者派遣法の事例で明白です。	反対	現行でもノルマにしばられて、裁量がないなどサービス労働と長時間労働の温床となっています。適用範囲の拡大に反対です。	反対	「人材活用の仕組み」などが違えば賃金格差があっていいなど格差を温存するものであり反対です。	反対	審議時間を奪い、問題点を隠す法案の一括化は許せません。	反対	「カネを払えばクビにできる」となれば、使用者が気に入らない労働者を解雇する手段を法定化することになりかねません。現在でも労働者を追いつめ自ら「辞める」と言わせたりロックアウトなどの違法な解雇が横行しています。「整理解雇の四要件」こそ法定化すべきです。	
福岡11区	武田 良太(自民)	賛成		賛成		賛成		賛成		賛成		賛成		賛成		どちらでもない		
	山下 とみ子(共産)																	
	竹内 信昭(社民)	賛成		賛成		反対		反対		反対		反対	働き方改革一括法案の考え方が労働者を誑かすためのものであり、その中の「同一労働同一賃金」は偽物にすぎない。	反対		反対		